

2023年度（2023年9月1日～2024年8月31日）

## 環境DNA学会事業報告

一般社団法人環境DNA学会

### 1. 学術大会の開催

第6回環境DNA学会九州大会を実施した。

- 1) 期日：2023年12月2日～5日
- 2) 場所：九州大学西新プラザ・九州大学椎木講堂
- 3) 参加者：202名（企業展示等関係者含む）  
環境DNA学会：学会員：147名 非会員：45名 関係者：10名
- 4) 講演数：公開シンポジウム、エクスカージョン、ワークショップ、プレナリーセッション 2件、自由集会 2件、ポスター発表 51件（学会員 44件、高校生 7件）
- 5) 協賛：ゴールド 1社、ブロンズ 5社

\*なお、大会報告については環境DNA学会ニュースレターNo.6にて掲載済。

### 2. 技術セミナーの開催

環境DNA技術の普及と発展を目的とし、技術セミナーをオンライン（ウェビナー）形式で開催した。環境DNA学会マニュアルの改定に合わせて、講師からマニュアルの主な改訂点、追加点などについて情報提供を行った後、質疑応答と討議を行った。また実務者向けにCPD技術者継続教育の修了書を発行した。

2023年技術セミナー「改訂版・環境DNA調査・実験マニュアル」の現状と課題

開催日：2024年8月26日 14:00～15:30（Zoomウェビナーオンライン）

講師：山川 央（かずさDNA研究所）・高原 輝彦（島根大学）、オーガナイザー：土居 秀幸（京都大学）

参加：165名（うち一般 82名、学生 7名、賛助 76名）

### 3. 環境DNA調査・実験マニュアル改訂版の公開

環境DNA技術標準化委員会におけるマニュアル改訂メンバー6名（源、土居、山川、村岡、山中、高原）が中心となって改訂版を作成し、2024年8月9日に最新版であるVer. 3.0を発行した。

### 4. ISOの策定について

環境DNAサンプルの採水および保存について、ヨーロッパの標準をベースとしたISO化についてISO/TC 147/SC 5/WG 13で議論が進行中である。学会からは、荒木、近

藤、土居、源、村岡、山中の理事6名が環境DNA規格開発（ISO17805）エキスパートとして参加している。また、国際的なタスクフォースiESTF（International eDNA Standardization Task Force）において、「PRESERVATION AND EXTRACTION OF MACROINVERTEBRATE BULK SAMPLES」などの6項目についても議論が進行中である。

## 5. Southern eDNA Societyとの連携

Southern eDNA Societyとの連携について議論している。Southern eDNA Societyにて2年ごとの学会大会が開催されるにあたり、招待講演者を日本人から推薦してほしいという依頼があり、源利文会長が2nd Australian & New Zealand eDNA Conference（Southern eDNA Societyの学会大会、2025年2月18～21日）にて基調講演を行うこととなった。

## 6. 広報活動

### 1) ニュースレターの発行

環境DNA 学会の活動報告と情報共有を目的とし、2024年4月に第6号となるニュースレター（日本語版24ページ、英語版26ページ）を学会員向けに発行した。主な内容は学会長挨拶、The eDNA Society International Meeting 2023及び第6回環境DNA学会九州大会開催報告、環境DNA研究最前線、MtInsects-16Sを用いた昆虫類の環境DNA解析、編集あとがきである。

### 2) 学会ウェブサイトおよびSNS（X）の運用

学会大会開催情報をはじめとした学会活動に関連する事項について随時記事を掲載し、国内外に向けた情報発信を行なった。ウェブサイトは日英両言語で、Xは主に英語での運用とした。

## 7. 関連機関との連携・協力並びに社会貢献・社会教育の推進事業

### 1) 日本科学未来館との協同社会教育活動

日本科学未来館と協同で行っていた小学生向け環境DNAイベントを紹介するパネル「環境DNA博士と水辺の生き物を調査せよ！」を下記の科学館に巡回した。

- ・川口ダム自然エネルギーミュージアム
- ・富山県立イタイイタイ病資料館
- ・上田創造館
- ・厚岸町海事記念館
- ・北網圏北見文化センター

なおこのパネルの巡回は今年度で終了するが、今後は高崎市少年科学館で展示する

こととなった。

## 2) 環日本海環境協力センターとの連携

環日本海環境協力センターでは、環境DNA を利用して日本海の生物多様性評価を行うという計画があり、それに対して助言を行った。

## 8. 代議員会、理事会、その他

### 1) 理事会

2023年11月21日 定時理事会（Zoom によるオンライン）理事15名、監事2名

### 2) 代議員会

2023年11月21日 定時代議員会（Zoom によるオンライン）代議員 9名

### 3) 選挙

2024年7月1日～31日 代議員・代表理事候補選挙（任期：2024年9月1日～2026年8月31日）を実施した。

## 9. 事業計画および収支予算書

2023年11月21日開催の理事会において、2023年度事業計画および収支予算書を承認した。

## 10. 会員動向

会員種別	2022年度末	2023年度末	増減	備考
正会員（一般）	228名	206名	-22名	新規 43名 更新 163名
正会員（学生）	85名	43名	-42名	新規 17名 更新 26名
賛助会員	31団体	31団体	0	新規 4団体 更新 27団体

以上

## 事業報告の内容を補足する重要な事項

特になし